

第1部 まちづくり講演 テーマ「地域のつながりを広げるまちづくり」

山口洋典 同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授

講演では、地域を信じて頼ることができる関係づくりが豊かな地域性を育むという問題提起から、人々がつながる「仕組み」と「仕掛け」をどう作っていくのか、さらに、まちづくりの基本的な考え方がコントロール（管理）からコーディネート（調和）に変化していることに応じて、地域の風土に合うものをみんなでどう考えていくかというお話がありました。また、先生が実践研究のフィールドとされている大阪の上町台地での体験を通して、まちづくりを「長縄跳び」にたとえた独創的でわかりやすい説明をしていただきました。そして、住民に、“ここ「で」いい”ではなく、“ここ「が」いい”と言ってもらってこそ、地域の広がり、まとまりができるが、それには地域の日常の実力が問われるとのお話がありました。最後に、洛西ニュータウンのシナリオである「まちづくりビジョン」を、多くの人々が関わりあいながら、多少のアドリブも交えて楽しむ余裕をもって、進めていってほしいというエールの言葉をいただきました。



第2部 まちづくり報告

洛西ニュータウンにおけるまちづくり活動の紹介

安枝 英俊 京都大学大学院工学研究科助教（委員会アドバイザー）

安枝先生からは、洛西ニュータウンにおける、まちづくりに関連するグループ活動についての紹介がありました。

今回のまちづくり活動調査では、ニュータウン内の資源や、これらの資源に関わる活動にどのようなものがあるのかを発見するという観点で調査を進めているというお話がありました。この調査については、3月10～15日の間に、ラクセーヌ北側広場においてパネル展示が行われ、報告会の中では京都大学大学院生の柴崎さんからパネル内容についての説明がありました。4つの学区から構成される洛西ニュータウンにおいては、多くの活動が学区毎に行われているが、4つの学区を連携するようなニュータウン全体のまちづくりネットワークを構想し、研究成果を地域に還元しながら調査活動を継続していきたいとのお話がありました。



委員会・部会の取組の紹介

勝本 竹彦（委員会委員長）

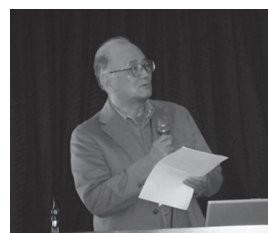
高橋 進（「環境部会」部会委員）

香水 義三（「安心安全・子ども育成部会」部会委員）

鈴木日出生（「コミュニティ部会」部会委員）

長澤 武夫（「生活機能向上部会」部会委員）

発表の皆さんは、活動の概要を、わかりやすい図表や写真を用い、工夫をこらしてコンパクトに紹介されました。



第3部 まちづくりトーク

各部会ごとにトークテーマを設け、部会委員の進行により、参加者からの意見やアイデアをうかがいながら自由に語り合いました。それぞれの部会で、建設的で前向きな意見交換が行われ、和やかでにぎやかな盛り上がりを見せていました。皆さんの貴重なご意見は、これからの委員会・部会活動の参考としてまいります。

環境部会

- 誰にもイメージされやすい「通り」の愛称づくり 進行：藤原 篤（部会委員）
- ・ 誰にもわかるわかりやすい特徴のある愛称であれば、まちへの親しみや愛着が芽生え、まちが明るくなるのでは。
- ・ 公園の愛称もあってよい。たとえば「洛西八景」をみんなで考えてみるのも面白いし楽しい。

